

平成 30 年度  
全子連ユース会議

全体会議録

H30.6.16~17  
全子連ユース執行部

6月16日（土）記録

#### ○河本会長

今日から本格的に、全子連ユースを組織として活動していくこととなる。

人に頼るのではなく、子どもたちのために、自らが知恵を出して汗を流して活動して欲しい。

#### ○佐々木副会長

毎年、全子連ユースに来ると、また頑張ろうと思える。

子どもたちに何をしてあげられるかを、いつも考えている。

子どもたちに夢と希望を与えられるよう、頑張っていて欲しい。

#### ○河本会長から趣旨説明

異年齢集団で行動し、様々な経験をすることによって、人間として最も大切なことが身に付く。

近年度々発生している殺人等悪質な事件は、子どもの頃にたくさんの経験や、人間関係を築いてきていない人間が増えていることが一因とも考えられる。

多くの人と関われば関わった分だけ、多くのことを学び、身に付けることができる。

包丁の刃を磨くためには砥石が必要だが、人間にとっての砥石的存在は人間である。

スポーツ少年団等と違って子ども会は、様々な目的や志がバラバラな人たちで活動している。

自分らだけではなく、子どもたちを巻き込んで、磨き合って会を盛り上げていくことが大事。

全子連ユースには、子どもたちの憧れの存在、オールマイティなリーダーを目指してもらいたい。

全国ジュニア・リーダー大会を2019年7月27日～29日オリンピックセンターで開催する。

年をとればとるほど守りに入ってしまうが、全子連ユースは攻めて攻めて前進する組織へ。

#### ○全子連事務局御園生さんより

今回の参加者34名、全員で52名

運営要項について…現段階ではまだ曖昧な部分もあるが、掲示板等を活用して整備していきたい。

執行部について…河本会長より選任、登壇、自己紹介

#### ○執行部 妹尾会長から

資料P. 7～P. 9までの運営要項、今回の会議の位置付けについて

子ども会未来委員会、地区子ども会推進研究会と全子連ユースは、全子連の中の3本柱として動いていくため、全子連ユースだけが暴走しないよう、連携をとって活動していきましょう。

資料P. 10 会員心得、レギュレーションについて

資料P. 11 全国子ども会連合会について、執行部について、各支援部についての説明

#### ○各支援部長（田代、玉川、星島）より

各支援部の役割、メンバーについての詳細をそれぞれ説明

各ブロックに分かれて、各メンバーを決定する。

今回の会議にいないメンバーもグループ分けする。（保留も可）

北海道は、北海道子連と、政令指定都市の札幌市が参加しているのだが、他政令指定都市とは遠く連携もとりにづらいため、北海道子連と札幌市で1つのブロックとする。

#### ○この二日間で取りかかること

組織強化支援部 … アンケート素案の作成、素案の決定まで

育成支援部 … 手帳の素案の作成まで

事業支援部 … 9月全国シニア研修会、2月全国中央大会のプログラム案の作成まで

6月17日（日）記録

### ○各部部长より進捗状況の報告

事業支援部 … 全国シニア研修会、2月中央大会分科会のテーマ、プログラム等決定（別紙）  
執行部、理事会に見てもらい講師依頼等進めていく。

育成支援部 … 2019年7月の全国ジュニア・リーダー大会までに作成して配布する。  
細かいスケジュールは別紙

組織強化支援部 … 各都道府県等子連担当者向けの実態調査の素案作成  
調査締切を平成30年9月15日とする。

平成30年10月31日までに集計を終え、2月の全国中央大会で結果配布

### ○執行部 妹尾会長より

今後、メインとなって活動する支援部のメンバーを、執行部で精一杯カバーしていく。

今までは全子連から受け取る側でいたかもしれないが、これからは発信する側

私たちは、子どもたちが自主的に活動していくように手助けができるリーダーでなくてはいけない。

子どもたちが知恵を出し、主体的に行動していることを尊重、認めることが大事。

### ○美田副会長より

子ども会は、地域の中での子ども会であり、地域の問題解決が一番の目的であること。

理念や用語の定義整理や、子ども会を正しく理解したジュニア・リーダー育成、子ども会を正しく理解したユース・リーダー組織擁立等

昭和40年に「日本中の子どもたちの真の成長と幸福（しあわせ）のための子ども会」を理念として全子連は発足したが、子ども会実来意委員会では、今後もこのことを追求し続け、真の子ども会活動を目指していくこと。

全子連ユースもこの理念を忘れず、正しい子ども会を理解、伝えていけるようになってもらいたい。

### ○新田理事より

45年前の子ども会活動、ジュニア・リーダー、シニア・リーダー活動の映像（約10分）

現在、新田さんが川に飛び込む映像を流し、自己紹介

今回の会議を見ていて、今までとは全く違うことをやろうとしているところが大進歩だと言える。

自分たちが考えたことを行動に移していくことは大事

面白いことを考えたら協賛してくれる企業を探して、活動資金獲得！までいけたらもっと面白い。

けれども、現在もこれからも、シニア・全子連ユースに求めるものはたった1つ

→ 全国子ども会会員数をどうやって増加させるか。ここが一番の問題である。

現在は年間で約15万人会員が減少している。このままでいくと子ども会はなくなってしまふ。

新田は1人しかいないので、ユース1人1人が子ども会の良さを広めていく人間になって欲しい。

### ○河村先生

子ども会で育ってきた良さは、地域が違えども不思議と共感し合える仲間の良さがある。

与えられた条件の中でベストを尽くすこともすごく良いこと。

しかしそれだけが全てではないという方向に変わって行けたらもっと素晴らしい。

○佐々木副会長

ここの中だけで輝くのではなく、地域に帰って輝いて地域を元気にして欲しい！  
子どもたちに、夢と希望を与える人間になってください。